

びはく 12月の自然講座 へのおさそい

いま長野県の 高山帯で進行している 温暖化の状況

企画展
「世界最南端のライチョウがすむ
南アルプス」付随講座



高山帯の生態系は温暖化に対して影響を受けやすいと言われていますが、そもそも高山帯における気象データはほとんどありません。そこで、長野県環境保全研究所では10年ほど前から、県内の高山帯において気象観測を始めました。これまでの観測結果を基に、長野県の高山帯における近年の温暖化の状況について紹介いたします。

講師：浜田 崇さん（長野県環境保全研究所主任研究員）

日時：12月9日（土）午後1時30分～3時

場所：飯田市美術博物館講堂 ※聴講無料、申込不要



… 平均気温の変化は？ …

希少植物はどうなるの？

… 虫や鳥、生き物に影響がある？

… ライチョウなどの生育

域は変わるの？ …



長野県の山岳地における気象観測が続けられている



飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町 2-655-7

TEL 0265-22-8118 FAX 0265-22-5252 <http://www.iida-museum.org/>

◆今回の自然講座は2018年1月13日（土）、伊那谷自然友の会・吉田保晴氏による「伊那谷の動物たちはいま」です